

事業群評価調書(令和元年度実施)

基本戦略名	10 にぎわいと暮らしを支える社会基盤を整備する	事業群主管所属	土木部道路建設課
施策名	(1) 九州新幹線西九州ルートなどの人流・物流を支える交通ネットワークの確立	課(室)長名	馬場 一孝
事業群名	② 高規格幹線道路・地域高規格道路の整備による高速交通ネットワークの構築	事業群関係課(室)	地域づくり推進課

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チャレンジ2020 本文)						(取組項目)				
②観光の振興、企業立地の促進や物流の効率化には、地域間の時間短縮、定時性の確保やミッシングリンク※の解消が課題です。このため、地域の交流促進や連携強化に有効な高規格幹線道路や地域高規格道路など、規格の高い道路の重点的な整備を推進します。 ※ミッシングリンク: 高規格幹線道路等のうち未整備区間で途中で途切れている区間のこと						i) 西九州自動車道の整備促進、九州横断自動車道4車線化の事業促進 ii) 島原道路の整備促進 iii) 西彼杵道路の整備促進及び長崎南北幹線道路の事業化へ向けた調査 iv) 島原天草長島連絡道路の実現に向けた検討 v) 高規格幹線道路・地域高規格道路の整備と一体となった国県道の整備促進				
事業群	②高規格幹線道路・地域高規格道路の供用率	指標	基準年	H28	H29	H30	R元	R2	最終目標(年度)	(進捗状況の分析) 平成30年度は西九州自動車道の伊万里松浦道路(調川IC~松浦IC間)が予定通り供用したが、島原道路の一部の工区で追加工事が発生し遅れが生じたため、平成30年度の目標値からやや遅れている。島原道路の諫早インター工区については、今年度中の供用に向けて整備推進を行うとともに、その他の工区においても整備に必要な予算確保に努めて整備促進を図っていく。
		目標値①		53.4%	57.0%	59.2%	59.2%	60.6%	60.6% (R2)	
		実績値②	53.4% (H 26)	53.4%	56.4%	57.3%			進捗状況	
		②/① (達成率)		100%	98%	96%				やや遅れ

2. 平成30年度取組実績(令和元年度新規・補正は参考記載)

事業番号	取組項目	事務事業名 所管課(室)名	事業期間	事業費(単位:千円)			事業対象	事業概要 平成30年度事業の実施状況 (令和元年度新規・補正事業は事業内容)	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)				平成30年度事業の成果等	中核事業
				H29実績	H30実績	R元計画			うち一般財源	人件費(参考)	指標	主な目標		
1	取組項目 i	企画調査費	S55-	83,840	77,529	6,437	国土交通省等	国等への要望活動を行う際の資料として、現状の問題点や課題を整理したうえで、ストック効果(整備効果)などを整理した資料作成を行った。	活動指標 (国等への)要望活動回数(回)	5	6	120%	●事業の成果 ・平成30年度の目標であった西九州自動車道(佐々IC~佐世保大塔IC)の4車線化については、前年度前倒しで目標達成となったため、次年度以降の新規事業化など、引き続き要望活動を行った。 ●事業群の目標(指標達成)への寄与・作成したストック効果などの資料とともに国等へ新規事業化や事業促進の要望活動などを行っており、高規格幹線道路・地域高規格道路の整備促進が図られている。	○
				40,108	40,108	6,378				5	5	100%		
		道路建設課		64,484	64,484	6,378				成果指標 新規事業化箇所数(箇所)	2	2		
2	取組項目 ii	島原道路の整備促進(公共)	H20-	7,482,718	74	—	道路利用者	・(国)251号(出平有明バイパス)測量、設計、用地取得、橋梁上部工を推進した。 ・(国)251号(瑞穂吾妻バイパス)測量、設計、調査を推進した。 ・(一)諫早外環状線(諫早インター工区)盛土工、橋梁上下部工を推進した。 ・(一)諫早外環状線(長野~栗面工区)トンネル工を推進した。	活動指標 事業箇所数(箇所)	5	5	100%	●事業の成果 ・平成30年度は、各工区において用地取得及び工事推進を図ったが、一部工区において、当初想定していた地質と相違があり対策工事に時間を要したため、完了年度が遅れることから目標値を下回った。 ●事業群の目標(指標達成)への寄与・指標目標値を下回っているものの、本事業に必要な予算の確保を行い、指標目標値に向けて工事推進を図っている。	○
				5,278,845	54	—				4	4	100%		
				道路建設課	6,942,150	79				—	成果指標 島原道路の供用率(%)	30		
									43					

3	西彼杵道路の整備促進(公共)	H25-	1,916,655	82	—	道路利用者	・(一)奥ノ平時津線(時津工区) 用地取得、トンネル工、橋梁下部工を推進した。	活動指標	事業箇所数(箇所)	1	1	100%	●事業の成果 ・平成30年度は、用地取得、トンネル工、橋梁下部工の推進を図った。 ●事業群の目標(指標達成)への寄与 ・指標目標値を下回っているものの、本事業に必要な予算の確保を行い、指標目標値に向けて工事推進を図っている。
			1,744,050	99	—					1	1	100%	
			2,992,500	0	—					28	28	100%	
										28	28	100%	
	道路建設課												
4	取組項目 iii 重要幹線街路調査費(公共)	(H30 終了) H29-30	6,200	4,200	—	道路利用者	長崎南北幹線道路(茂里町～滑石)など都市計画道路の事業化に向けた調査を実施した。	活動指標	調査路線数(路線)	1	1	100%	●事業の成果 ・平成30年度は、長崎南北幹線道路の事業化に向けた設計等を行った。
			4,397	97	—					1	1	100%	
										1	1	100%	
	道路建設課												
5	重要幹線街路調査費(単独)	—	2,519	1,260	807	道路利用者	長崎南北幹線道路(茂里町～滑石)など都市計画道路の事業化に向けた設計等を実施した。	活動指標	調査路線数(路線)	1	1	100%	●事業の成果 ・平成30年度は、長崎南北幹線道路の事業化に向けた設計等を行った。
			33,210	15,264	1,329					1	1	100%	
			51,368	19,964	1,063					1	1	100%	
										1	1	100%	
	道路建設課												
6	取組項目 iv 島原・天草・長島架橋構想等推進費	S63-	1,295	1,295	1,609	島原・天草・長島架橋建設促進協議会	島原・天草・長島架橋建設促進協議会を通じて、国への要望活動や、3県の地域間交流連携事業などの事業を実施し、国に対し、構想実現の社会的意義と地元の熱意を強く訴えとともに、地元機運の醸成を図った。 ※地方大会開催も予定していたが、台風のため中止となった。	活動指標	(国等への)要望活動回数(回)	2	2	100%	●事業の成果 ・平成30年度は国等への要望活動など2回行ったが、国による調査の再開には至らなかった。
			1,322	1,322	1,594					2	2	100%	
			1,370	1,370	1,595					数値目標なし	—	—	
	地域づくり推進課												
7	取組項目 v 国県道の整備促進(公共)	H26-	1,986,530	360	—	道路利用者	各工区とも高規格幹線道路・地域高規格道路と一体となって、用地取得及び工事推進を図った。	活動指標	事業箇所数(箇所)	5	5	100%	●事業の成果 ・平成30年度は各工区の供用に向けて用地取得及び工事推進を図ったが、一部工区において、用地取得に時間を要し完了年度が遅れることから目標値を下回った。
			1,306,624	368	—					4	4	100%	
			1,564,299	357	—					4	0.7	175%	
										0.9	0.0	0%	
	道路建設課												

### 3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

#### i) 西九州自動車道の整備促進

- ・西九州自動車道の供用率は72.1%であり、未供用区間が19.1kmあるため、ミッシングリンクが残っている。
- ・西九州自動車道の事業主体は国であるが、県としても西九州道推進室を立ち上げ国の用地取得を支援している。
- ・整備促進に向けて今後も道路整備の必要性を示したストック効果などの資料を作成し、整備促進を国等へ要望していく必要がある。

ii) 島原道路の整備促進(公共)	<ul style="list-style-type: none"> <li>島原道路の供用率は35%であり、未供用区間が32.5kmある。</li> <li>出平有明バイパスは一部用地取得、橋梁工事を実施している。今後も引き続き必要な予算確保を行い、用地取得及び工事推進を図っていく必要がある。</li> <li>瑞穂吾妻バイパスは測量・設計・調査を実施している。今後も引き続き必要な予算確保を行い、測量・設計・調査を完了させ、早期の用地交渉着手を行っていく必要がある。</li> <li>諫早インター工区は平成29年度に小船越IC～栗面IC間の供用開始を行った。残りの区間については必要な予算が確保できたことから今年度供用開始を行う予定。</li> <li>長野～栗面工区はトンネル工事が完了した。今後も引き続き必要な予算確保を行い、工事推進を図っていく必要がある。</li> </ul>
iii) 西彼杵道路の整備促進(公共)及び長崎南北幹線道路の事業化へ向けた調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在整備を進めている時津工区は平成28年度からトンネル工事に着手しており、整備推進が図られているが、今後も引き続き工事に必要な予算の確保を行い整備推進を図る必要がある。</li> <li>長崎南北幹線道路は現在ルート検討を進めているが、早期の都市計画決定や事業化に向け、引き続き地元調整や調査設計等を実施していく必要がある。</li> </ul>
iv) 島原天草長島連絡道路の実現に向けた検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>国等への要望活動など行ったが、国による調査の再開には至らなかった。</li> <li>原因としては、国が効率的な道路整備のあり方、委託調査の適正化についての議論を踏まえ、個別の海峡横断プロジェクトに関する調査を中止しているためである。</li> <li>調査の再開には、事業の必要性について、普及啓発活動等を通じ更なる地元の機運醸成に努めるとともに、国に対して継続的に強く働きかけることが必要である。</li> </ul>

#### 4. 令和元年度見直し内容及び令和2年度実施に向けた方向性

事業番号	取組項目	事務事業名	令和元年度事業の実施にあたり見直した内容 (令和元年度の新たな取組は「R元新規」等と記載、見直しが無い場合は「-」と記載)	令和2年度事業の実施に向けた方向性		
				事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
1	取組項目 i	企画調査費	—	—	令和2年度以降の予算確保や新たな新規事業化に向けて、現状の問題点や課題を整理したうえで、道路整備に併せて行っている地元の取組を踏まえたストック効果(整備効果)などを整理した資料を作成し、国等へ要望活動を継続して行っていく。	現状維持
5	取組項目 iii	重要幹線街路調査費(単独)	—	—	令和2年度以降の新たな新規事業化に向けて、現状の問題点や課題を整理したうえで、早期の事業化に向け地元調整及び調査設計を行う。	現状維持
6	取組項目 iv	島原・天草・長島架橋構想等推進費	—	⑨	構想推進地方大会や関係機関への要望活動において、三県架橋建設に資する調査の再開、島原道路の整備促進及び島原天草長島連絡道路の具体化に向けた検討の実施、必要な道路整備のための予算確保について、関係機関等に強く訴えていく。	現状維持

注:「2. 平成30年度取組実績」に記載している事業のうち、平成30年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

#### 【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができてきているか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点